

重

国際競争に打ち勝つ

「瀬戸内産業再生戦略」

点

山口県の瀬戸内沿岸地域には、石油コンビナート企業をはじめ日本経済を牽引してきた企業が集積し、世界に誇る高い技術力とブランド力を有しています。国際競争に打ち勝つための産業基盤の強化など、事業環境の整備を進め、本県の強みである瀬戸内沿岸の製造業の再生・強化を図ります。

戦

プロジェクト

- ◇物流拠点港湾の機能強化
- ◇工業用水の安定供給
- ◇物流等基盤の強化
- ◇付加価値の高い研究開発・設備投資の促進

略

プロジェクト	No	物流拠点港湾の機能強化
	1	

目標	物流拠点港湾施設の整備等を推進し、県内企業の国際競争力を強化
----	--------------------------------

現状と課題

- 本県の港湾貨物取扱量(121百万トン)は、全国第9位(平成23年港湾統計)
- 本県の石炭取扱量は、全国第1位。移出(国内の港湾への配送)量は、全国第1位
- 徳山下松港と宇部港は連名で石炭部門の国際バルク戦略港湾に選定
- 本県のみならず、瀬戸内沿岸の製造業の再生・国際競争力強化のため、旧世代の港湾機能から脱却し、船舶の大型化等への対応が必要

取組方針

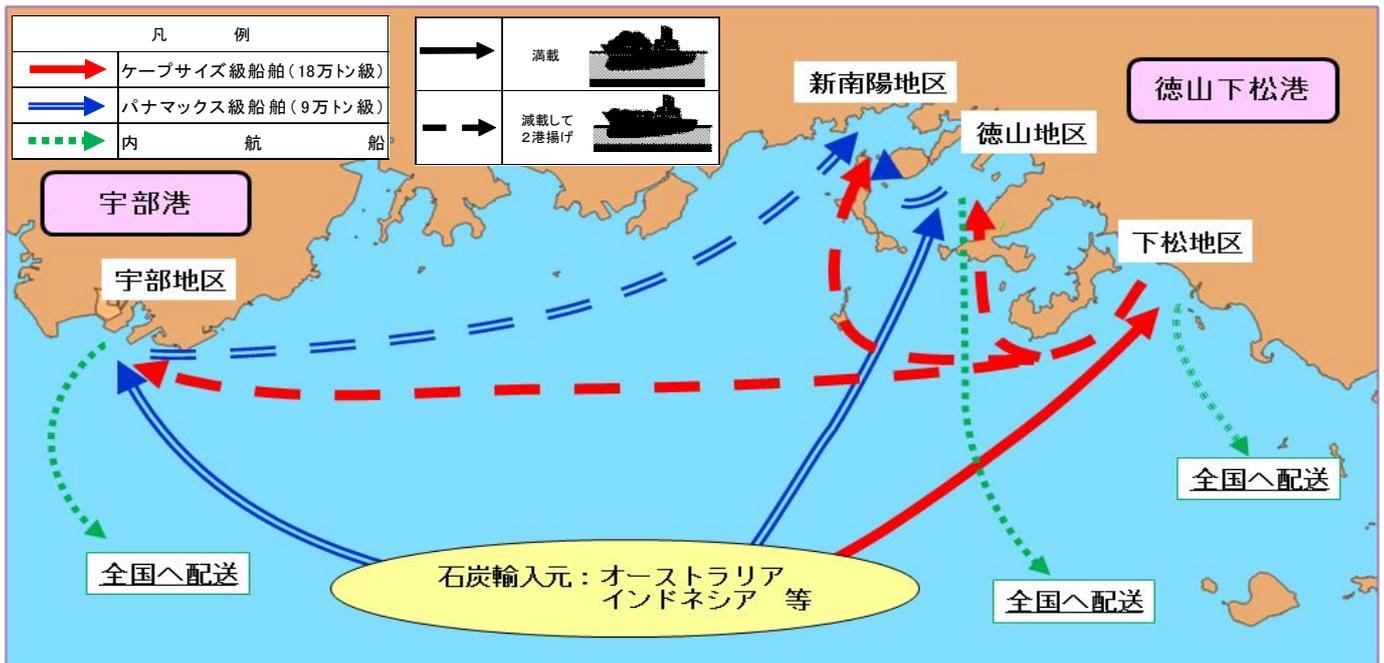
- 国際バルク戦略港湾(徳山下松港・宇部港)について、大型船舶を活用した一括大量輸送による石炭の安定的かつ安価な輸送を実現するため、実施計画に沿った取組を進めます。
- 船舶の大型化やコンテナ貨物の増加等に対応するため、岸壁や航路等を整備します。
- 港湾物流の効率化、コスト縮減に向けたソフト施策の充実を図ります。

具体的な取組

取組	<input type="checkbox"/> 大型船舶による一括大量輸送、港湾連携の推進(国際バルク戦略港湾の整備) <input type="checkbox"/> 効率的な荷役システムの充実・強化(物流機能の強化) <input type="checkbox"/> 大規模災害時の物流拠点の確保(耐震機能の強化) <input type="checkbox"/> ソフト施策の充実(効率的な港湾運営及び利用促進)						
	取組	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
工程表	ハ	国際バルク戦略港湾の整備	港湾計画	長期構想検討委員会開催(H25.8) 徳山下松港 全面改訂(H26.3)		宇部港 一部変更	
			徳山下松港	(徳山地区) 航路・泊地の-14m化着手	(新南陽地区) -12m航路・泊地の水深確保	パナマックス級船舶入港対応	ケーブサイズ級船舶入港対応を目指し整備促進
			宇部港	育成プログラムに沿った整備推進	(宇部地区) -13m航路・泊地の水深確保		
	ド	物流機能の強化	徳山下松港		コンテナターミナルの再編整備	コンテナターミナル再編強化完了	
			岩国港	コンテナターミナルの整備 荷役機械設置完了(H26.3)	臨港道路の整備	装港地区 暫定供用開始	
			三田尻中関港	臨港道路の供用開始(H26.3)	コンテナターミナルの再編整備 -7.5m泊地の浚渫完了		
	耐震機能の強化		三田尻中関港の耐震強化岸壁整備着手(H25) 徳山下松港の耐震強化岸壁整備完了(H26.3)	耐震強化岸壁の整備			
	ソフト	効率的な港湾運営及び利用促進	ポートセールス促進、外貨定期航路及び内航フィーダー航路の利用促進 等 港湾物流最適化支援調査(H26.3) パナマックス級船舶(9万トン級)の夜間入出港への対応(H26.3)				

事業の概要

国際バルク戦略港湾（2港4地区）の連携スキーム図



物流拠点港湾の整備促進

物流拠点港湾施設の整備促進

		国際拠点港湾		重要港湾			
		徳山下松港	下関港	岩国港	三田尻中関港	宇部港	小野田港
ハード	国際バルク戦略港湾の整備	<ul style="list-style-type: none"> ■航路・泊地の水深確保 ■大型係留施設の整備 				<ul style="list-style-type: none"> ■航路・泊地の水深確保 ■大型係留施設の整備 ■廃棄物埋立護岸の整備 	
	物流機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ■コンテナターミナルの再編整備 ■荷役機械の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ■航路・泊地の水深確保 ■廃棄物埋立護岸の整備 ■ふ頭間のアクセス強化 	<ul style="list-style-type: none"> ■多目的外貿ふ頭の整備 ■荷役機械の整備 ■ふ頭間のアクセス強化 	<ul style="list-style-type: none"> ■コンテナターミナルの再編整備 ■荷役機械の整備 		<ul style="list-style-type: none"> ■航路・泊地の水深確保
	耐震機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ■耐震強化岸壁の整備 		<ul style="list-style-type: none"> ■耐震強化岸壁の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ■耐震強化岸壁の整備 ■臨港道路(橋梁)の耐震補強 		
ソフト	ソフト施策の充実	<ul style="list-style-type: none"> ■ポートセールス促進 ■外貿定期航路及び内航フィーダー航路の利用促進 等 					
							県内企業の国際競争力の強化

徳山下松港における港湾計画の改訂フロー

平成24年度		平成25年度								
7月	1月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
●	●	●	→			●	●	→		●
長期構想検討委員会(第1回)	長期構想検討委員会(第2回)	長期構想検討委員会(第3回)	港湾計画(案)作成等			長期構想検討委員会(第4回)	山口県地方港湾審議会			国土交通省交通政策審議会

プロジェクト	No	工業用水の安定供給
	2	

目標	企業立地や既存企業の新たな投資計画に対応できる「工業用水の安定供給体制の確保」
----	---

現状と課題

- 山口県の工業用水の給水能力、契約水量はともに全国第1位の規模
 - ・ 給水能力 約171万m³/日
 - ・ 契約水量 約159万m³/日
- 一方で、地域間で需給にアンバランス
 - ・ 周南地区：計画給水量の全量を契約済み(給水能力 707,700m³/日、契約率100%)
 - ・ 防府地区：多量の県保有水(給水能力 154,550m³/日、契約率40.4%)
- また、渇水による慢性的な水不足
 - ・ 周南地区、宇部・山陽小野田地区：少雨による渇水により水不足が慢性化

取組方針

- 産業活動の重要なインフラである工業用水の安定供給に向け、水資源の確保と渇水への対策に取り組めます。
- 特に、工業用水の全量を売水している周南地区においては、受水企業等の意見や要望を踏まえながら、工業用水の安定的な確保に向けた対策の検討とその具体化に取り組めます。

具体的な取組

取組	【周南地区】 <input type="checkbox"/> 島田川分水の事業化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 光市・取水場から下松市・配水池までの送水管の整備等 ・ 料金単価の設定に向けた光市や受水企業との協議・調整 <input type="checkbox"/> 企業局第3次経営計画に基づく水資源・渇水対策の具体的な取組の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ 和田取水の川上ダムへの一時貯留 ・ 水系を越えた広域的な分水の事業化(迫戸分水等) 等 				
	【宇部・山陽小野田地区】 宇部丸山ダムの活用など渇水対策の具体的な取組の検討 【全県(7地区)】 国の料金制度の見直しに合わせた新たな取組の検討				
工程表	取 組	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	【周南地区】 水資源・渇水対策	● 島田川分水 計画公表(H25.9) 基本設計(H25.11~)	詳細設計	着工	→
	【宇部・山陽小野田地区】 渇水対策	● 宇部丸山ダムへの送水ポンプの設置(H26.3) ● 厚東川水系渇水対策協議会による検討【企業・県】	→	→	→
	【全県(7地区)】 新たな取組の検討	● 全地区7工水利用者協議会による検討【企業】	→	→	→

事業の概要

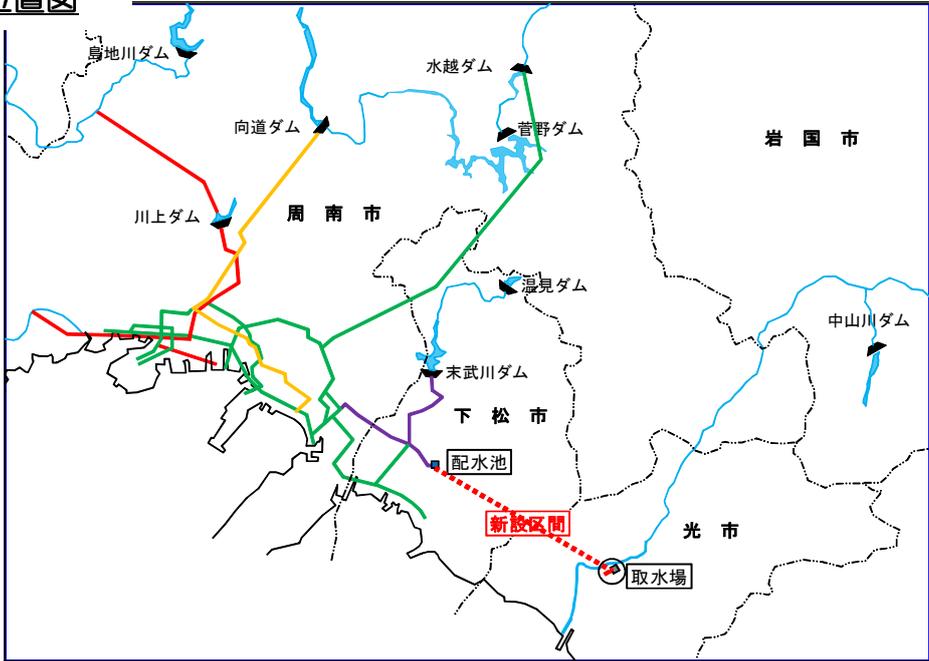
島田川分水

(中山川ダム上水道水利権の工業用水への転用)

◆ 概要

- 水源：島田川水系 中山川ダム (県営多目的ダム、岩国市周東町)
- 水利権(光市分)：15,200m³/日
 【県企業局への給水量】14,100m³/日 (有収率※ 93%)
 ※「有収率」= 給水量/取水量 (通常、取水場等で7%の水量消失を見込む)
- 給水開始：平成32年4月(予定)
- 事業費：約35億円〔光市・取水場～(送水管)～下松市・配水池〕

◆ 位置図



【参考】山口県の工業用水の状況



プロジェクト	No	物流等基盤の強化
	3	

目標	幹線道路網の整備など、基盤強化等による迅速かつ円滑な物流等の実現
----	----------------------------------

現状と課題

- 産業振興等の観点から、物流等の円滑化や産業立地等に資するサービス水準の高い道路ネットワークの構築が必要
- 物流コストを低減するため、特殊車両通行許可制度における通行条件の緩和や弾力的運用等が必要

取組方針

- 地域の課題や利用者ニーズ等を踏まえ、物流等基盤強化に資する道路の整備を促進するとともに、特殊車両通行許可制度の改善等により、物流の効率化を図ることで、迅速かつ円滑な物流等を実現します。

具体的な取組

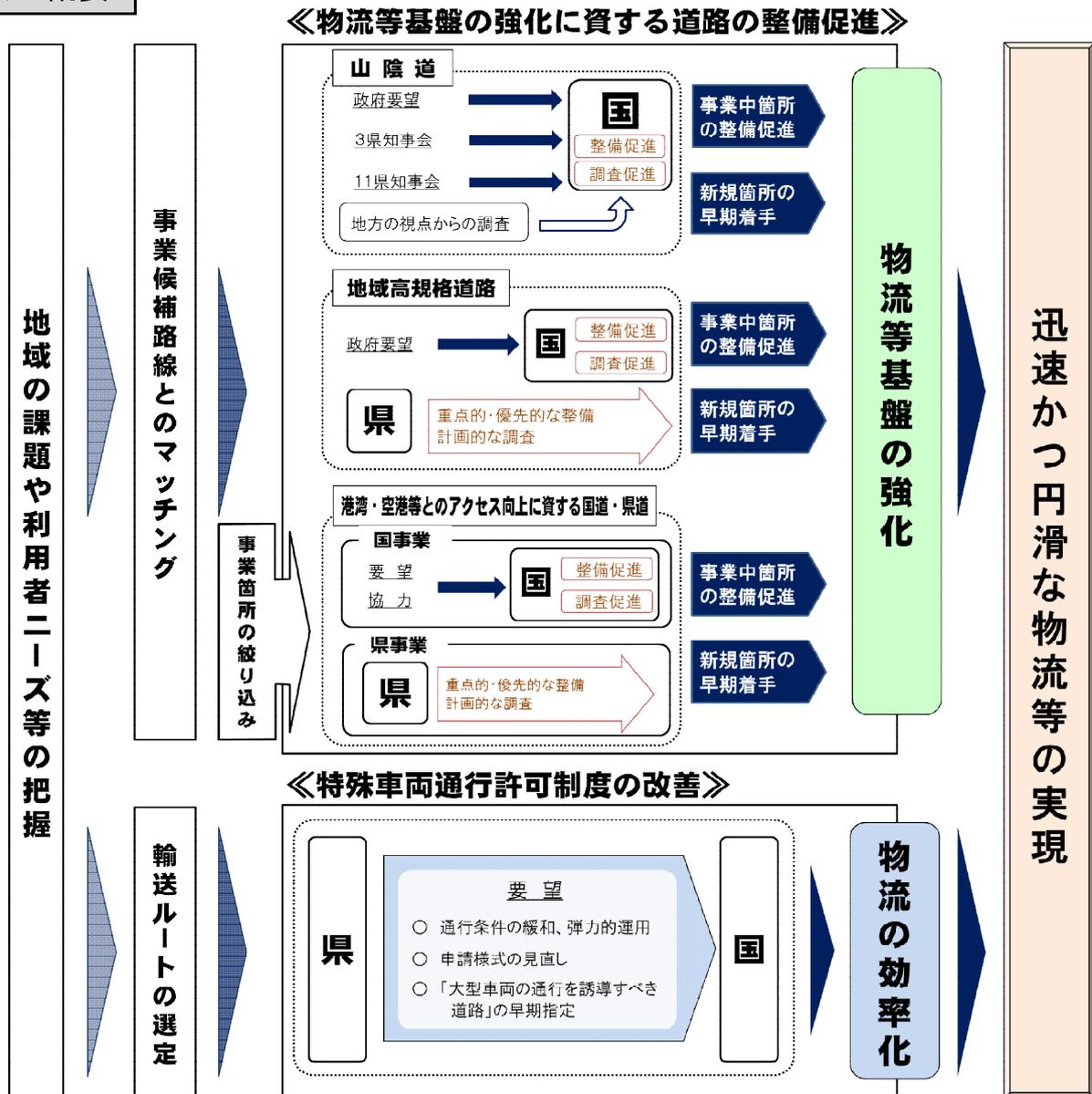
◆ 物流等基盤の強化に資する道路の整備促進

取組	<input type="checkbox"/> 地域の課題や利用者ニーズを踏まえた幹線道路網の整備促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 山陰道の事業中区間の整備促進、未着手区間の新規事業着手 ・ 地域高規格道路の事業中区間の整備促進(うち供用3箇所)、未着手区間の新規事業着手や、港湾・空港等とのアクセス向上に資する国道・県道の建設促進 					
	取組	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
工程表	地域の課題や利用者ニーズ等の把握 事業箇所の絞り込み	<ul style="list-style-type: none"> ● アンケート調査及びヒアリングの実施(～H25.8) ● 山口の道づくり意見交換会の開催(H25.10) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業候補路線とのマッチング 事業箇所の絞り込み 			
	高規格幹線道路の建設促進	山陰道(長門・俵山道路)の整備促進			→	
		山陰道(未着手区間)の優先区間の絞り込み調査	●	引き続き、ルート・構造検討、環境・地質調査等を経て新規事業着手	→	
		政府要望(H25.6) 11県知事会要望(H25.7)	● ●	引き続き、各種要望活動及び調査を実施	→	
	地域高規格道路等の建設促進	事業中区間の整備促進 政府要望(H25.6)		● 下関北バイパス供用 小野田湾岸線供用	● 山口宇部道路(小郡JCT)供用	→
		未着手区間の調査		引き続き、調査を進め新規事業着手		→
政府要望(H25.6)		●	引き続き、各種要望活動及び調査を実施		→	

◆ 特殊車両通行許可制度の改善等による物流の効率化

取組	<p>□ 物流関係機関に対して輸送ルートに係るヒアリングを実施し、利用者ニーズを踏まえ、効率的な物流ネットワークを形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 物流の効率化を図るため、特殊車両通行許可制度の改善を国へ要望 ・ 道路法一部改正に伴う、大型車両の通行を誘導すべき道路の早期指定と、指定にあたっての利用者ニーズの反映を国へ要望 				
工程表	取組	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	利用者ニーズの把握、輸送ルートの選定等	● ————— ● 企業、協会ヒアリング 調査を実施中	● ————— ● 課題の抽出 ニーズのとりまとめ 輸送ルートの選定		
	大型車両の通行を誘導すべき道路の指定	● ————— ● 政府要望(H25.6) 道路法等の一部改正(H25.5)	● ————— ● 指定道路の検討 早期指定に向け、国への要望、協議を実施		
特殊車両通行許可制度の改善	● ————— ● 政府要望(H25.6)	● ————— ● 引き続き、制度の改善に向け、国への要望、協議を実施			

事業の概要



プロジェクト	No	付加価値の高い研究開発・設備投資の促進
	4	

目標	国際競争力のある「ものづくり立県」の実現
----	----------------------

現状と課題

- 瀬戸内沿岸地域には基礎素材をはじめとした様々な産業が集積しているが、経済のグローバル化により、新興国とのコスト競争が激化
- 国際競争力のある付加価値の高いものづくりの継続・拡大が課題

取組方針

- 成長が期待される分野の付加価値の高い研究開発や事業化を支援します。
- 研究開発機能を強化し、高度な研究開発環境を提供します。
- 成長が期待される分野の企業の設備投資を積極的に支援します。
- 企業の初期投資の負担軽減に繋がる工場建屋や電力等のユーティリティを備えた工場適地を活用し、積極的な企業誘致を進めます。
- 企業ニーズを把握し、研究開発や設備投資の制約となる規制について、その緩和を国に要望します。

具体的な取組

取組	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 付加価値の高い研究開発や事業化への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・「やまぐち産業戦略研究開発等補助金」の創設・活用 <input type="checkbox"/> 研究開発機能の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・産業技術センターにおける先進的な研究開発拠点機能の整備 <input type="checkbox"/> 工場建屋や電力等のユーティリティを備えた工場適地を活かした設備投資の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・積極的な企業誘致活動の展開(工場適地の調査、PR) ・企業ニーズに応じた「企業立地促進補助金」の見直し <input type="checkbox"/> 規制緩和 <ul style="list-style-type: none"> ・企業ニーズを把握し、国に対して研究開発や設備投資の制約となる規制について、その緩和の要望等
----	--

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
工程表	付加価値の高い研究開発や事業化への支援	「やまぐち産業戦略研究開発等補助金」の創設 検討		研究開発・事業化の促進	
	研究開発機能の強化	要望	産業技術センターにおける先進的な研究開発拠点機能の整備		
	ユーティリティを備えた工場適地を活かした設備投資の促進		積極的な企業誘致活動の展開（工場適地の調査、PR） 検討	「企業立地促進補助金」の見直し	
	規制緩和	ニーズの把握 研究開発や設備投資の制約となる規制の緩和の要望等			

事業の概要

国際競争力のある「ものづくり立県」の実現

★高付加価値の研究開発等への支援

- ・やまぐち産業戦略研究開発等補助金の創設

★研究開発機能の強化

- ・先進的な研究開発拠点機能の整備

付加価値の高い
研究開発・事業化の促進

★ユーティリティを備えた工場適地を活かした設備投資の促進

- ・積極的な企業誘致活動の展開（工場適地の調査、PR）
- ・「企業立地促進補助金」の見直し

設備投資の促進

★国に対して必要な規制緩和の要望等
★ニーズの把握

規制緩和

本県産業を支える瀬戸内産業